

(注1) ※印(56)は表現の変更があった項目

(注2) (統合)とは2つの項目を1つの項目にまとめたものであるが、過去の数値の表記は以下のとおりとした。

項目	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育 (①と②を統合)	*	3.81 (平均)	3.98 (平均)	4.10
①小・中学校での能力を伸ばす教育	*	3.85	4.01	
②高校での能力を伸ばす教育	*	3.76	3.94	
(15) 伝統工芸の振興 (①と②を統合)	3.58	3.23	3.44 (平均)	3.56
①伝統工芸の振興	3.58	3.23	3.40	
②伝統文化の振興	*	*	3.48	
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境 (①と②を統合)	3.93	3.53 (平均)	3.79 (平均)	4.21
①職場内での男女の平等	3.93	3.86	4.07	
②女性の職場進出	*	3.20	3.51	
(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動 (①～③を統合)	3.88 (平均)	3.66 (平均)	3.80 (平均)	3.62
①自治会等の充実	3.52	3.22	3.34	
②ボランティア	4.06	3.85	4.00	
③相互扶助	4.05	3.92	4.06	

表2-1-8 領域別重要度得点の時系列比較

今回順位	領域	平成2年		平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	安全と個人の保護	1	4.52	1	4.29	1	4.46	1	4.50
2	収入と消費生活	3	4.43	2	4.19	2	4.29	2	4.40
3	社会福祉	4	4.25	6	3.79	5	4.08	3	4.31
4	労働・雇用	6	4.02	5	3.86	4	4.10	4	4.21
5	医療と保健	2	4.45	3	4.17	3	4.15	5	4.16
6	生活環境(統合)	5	4.06	4	3.92	6	4.01	6	4.05
7	男女共同参画(新規)	*	*	*	*	*	*	7	4.05
8	教育・文化・国際交流(統合)	7	3.79	7	3.62	7	3.77	8	3.86
9	地域活動	8	3.75	8	3.50	8	3.66	9	3.59
10	休暇と余暇	9	3.43	9	3.49	9	3.54	10	3.53
	県計		4.08		3.87		4.01		4.07

(注) 今回、生活環境、教育・文化・国際交流は、以下のとおり過去の分類を統合したものである。

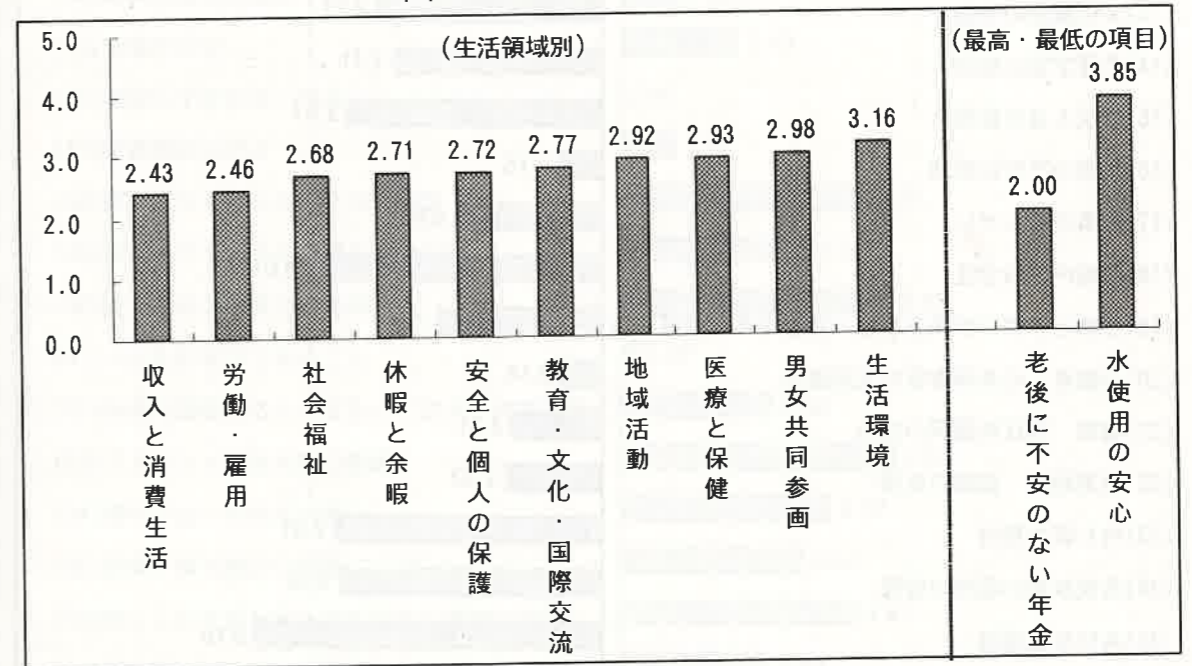
領域	平成2年	平成7年	平成11年
生活環境 (①～③を統合)	4.06 (平均)	3.92 (平均)	4.01 (平均)
①快適	4.26	4.21	4.32
②利便	3.94	3.77	3.88
③住宅	3.97	3.79	3.83
教育・文化・国際交流 (①～②を統合)	3.79 (平均)	3.62 (平均)	3.77 (平均)
①教育	3.78	3.74	3.94
②教養・文化	3.79	3.49	3.59

2 生活の各側面に対する充足度(問2)

県民生活に関わる個別具体的な63項目について、重要度と同様に、県民の暮らしの中でどの程度充足されているかを「非常に満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」「わからない」の6分類で回答してもらった。集計についても重要度と同様、5段階評価方式により、「非常に満たされている」=5点、「かなり満たされている」=4点、「どちらともいえない」=3点、「あまり満たされていない」=2点、「ほとんど満たされていない」=1点、の得点(ウェイト)を与えて、各項目ごとの平均点を求め、充足度に関する県民の評価の指標(充足度得点)とした。さらに、これらの項目を10の領域に分類し、各領域別の平均得点もあわせて算出した。

領域別にみた充足度の得点は、図2-2-1に示すように、得点の最も低い領域は「収入と消費生活」、最も高い領域は「生活環境」である。また、具体的な項目の中で得点の最も低い項目は「収入と消費生活」領域の「(46) 老後に不安のない年金」(2.00)で、最も高い項目は「生活環境」領域の「(30) 水使用の安心」(3.85)である。

図2-2-1 充足度得点



具体的に項目別の得点をみると、図2-2-2、表2-2-1に示すように、得点の最も低い項目は「(46) 老後に不安のない年金」(2.00)で、以下、「(51) 十分な貯蓄ができること」(2.06)、「(20) 高齢者・心身障害者の就業機会」(2.14)、「(16) 失業の不安の解消」(2.15)、「(40) 米軍基地の安全管理の確保」(2.17)、「(44) 収入の着実な増加」(2.18)、「(47) 税負担の公平さ」(2.19)と続いている。

一方、得点の最も高い項目は「(30) 水使用の安心」(3.85)で、以下、「(28) 買物の利便性」(3.53)、「(32) 下水道の整備」(3.45)、「(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実」(3.36)、「(60) 地域行事への参加」(3.20)、「(31) 廃棄物の減量化・リサイクル」(3.19)、「(6) 救急患者の適切な治療」(3.18)、「(25) 良好な住環境」(3.18)と続いている。

図 2-2-2 充足度の平均得点

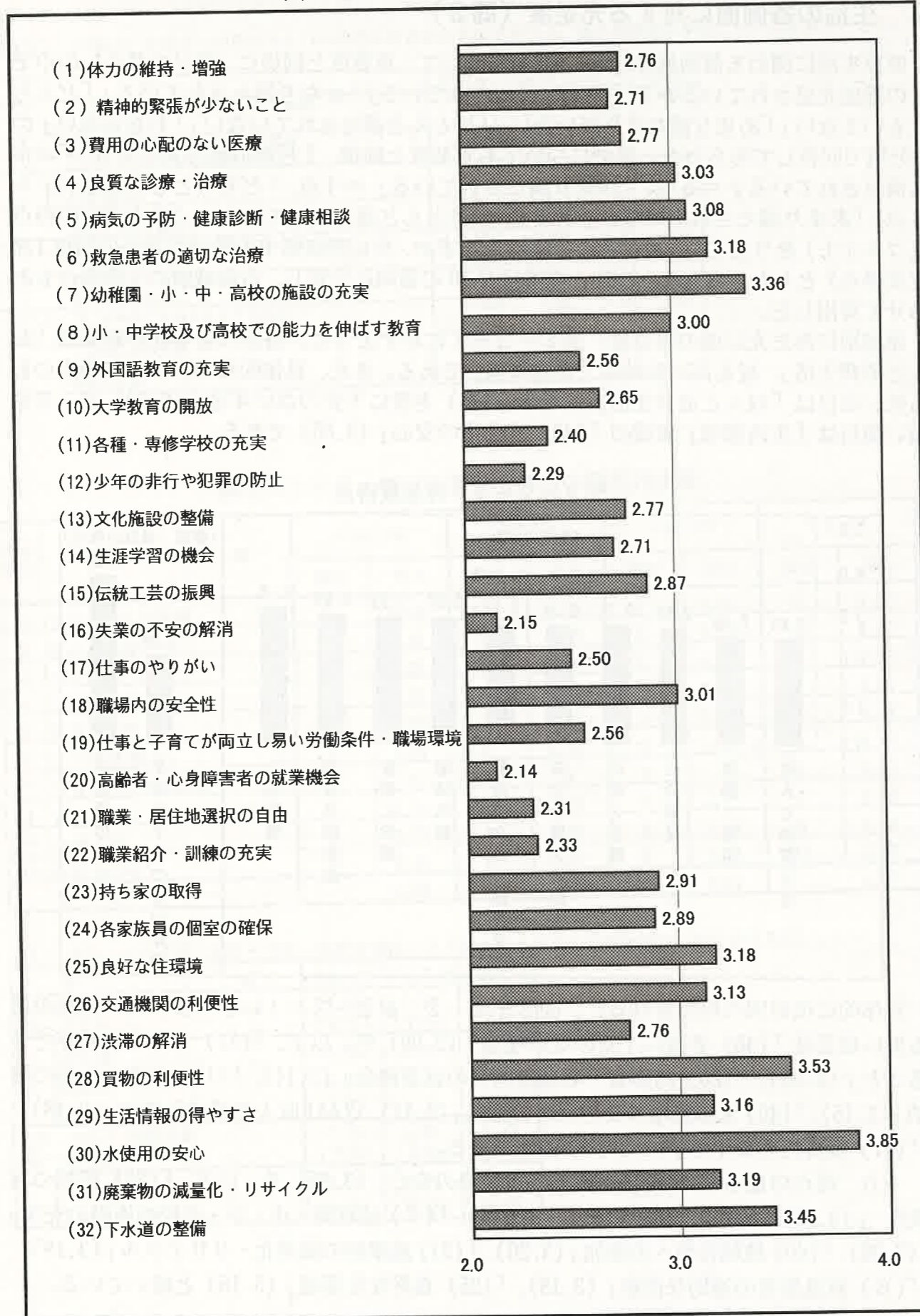


図 2-2-2 充足度の平均得点(続き)

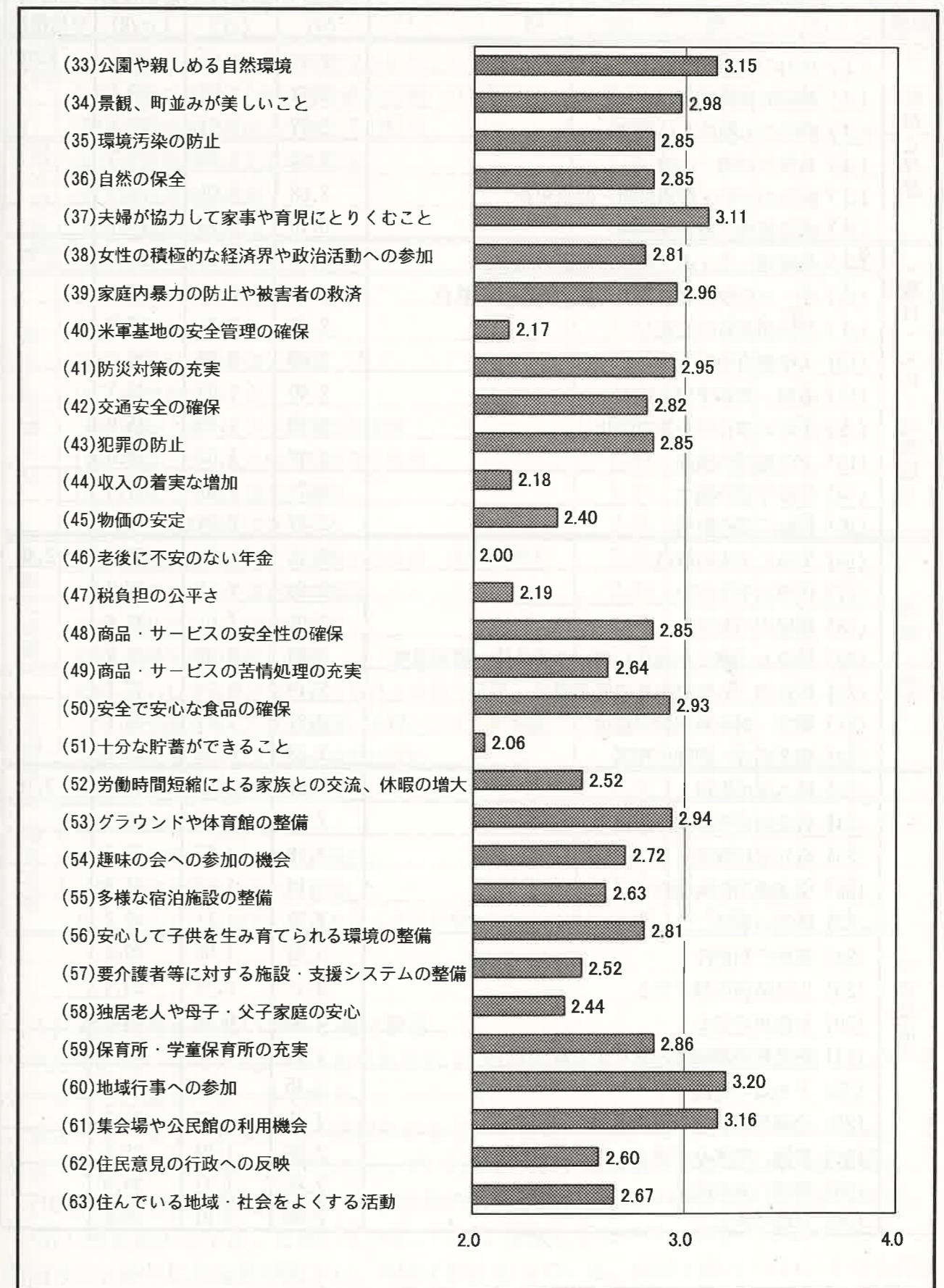


表2-2-1 充足度の平均得点

領域	項目	平均得点 (M)	標準偏差 (σ)	変動係数 (σ/M)	領域別 平均得点
医療と保健	(1) 体力の維持・増強	2.76	1.01	36.6	2.93
	(2) 精神的緊張が少ないこと	2.71	1.03	38.1	
	(3) 費用の心配のない医療	2.77	1.04	37.4	
	(4) 良質な診療・治療	3.03	0.98	32.3	
	(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	3.08	1.01	32.7	
	(6) 救急患者の適切な治療	3.18	0.94	29.7	
教育・文化・国際協力	(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	3.36	0.88	26.3	2.77
	(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育	3.00	0.92	30.8	
	(9) 外国語教育の充実	2.56	0.95	37.3	
	(10) 大学教育の開放	2.65	0.96	36.0	
	(11) 各種・専修学校の充実	2.40	1.03	43.1	
	(12) 少年の非行や犯罪の防止	2.29	1.05	45.9	
	(13) 文化施設の整備	2.77	1.07	38.6	
	(14) 生涯学習の機会	2.71	1.01	37.4	
	(15) 伝統工芸の振興	2.87	0.96	33.3	
労働・雇用	(16) 失業の不安の解消	2.15	1.12	52.2	2.46
	(17) 仕事のやりがい	2.50	1.19	47.7	
	(18) 職場内の安全性	3.01	1.01	33.4	
	(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境	2.56	1.09	42.6	
	(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	2.14	1.01	47.1	
	(21) 職業・居住地選択の自由	2.31	1.11	48.1	
	(22) 職業紹介・訓練の充実	2.33	0.99	42.4	
生活環境	(23) 持ち家の取得	2.91	1.39	47.7	3.16
	(24) 各家族員の個室の確保	2.89	1.27	43.9	
	(25) 良好な住環境	3.18	1.17	36.9	
	(26) 交通機関の利便性	3.13	1.16	36.9	
	(27) 渋滞の解消	2.76	1.11	40.2	
	(28) 買物の利便性	3.53	1.06	30.0	
	(29) 生活情報の得やすさ	3.16	0.93	29.4	
	(30) 水使用の安心	3.85	0.96	24.9	
	(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	3.19	0.97	30.4	
	(32) 下水道の整備	3.45	1.16	33.5	
	(33) 公園や親しめる自然環境	3.15	1.13	36.0	
	(34) 景観、町並みが美しいこと	2.98	1.04	35.0	
	(35) 環境汚染の防止	2.85	1.11	38.9	
	(36) 自然の保全	2.85	1.01	35.4	

表2-2-1 充足度の平均得点(続き)

領域	項目	平均得点 (M)	標準偏差 (σ)	変動係数 (σ/M)	領域別 平均得点
男女共同	(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと	3.11	1.05	33.9	2.98
	(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加	2.81	0.87	31.0	
	(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済	2.96	1.06	35.8	
個人の安全と保護	(40) 米軍基地の安全管理の確保	2.17	1.14	52.5	2.72
	(41) 防災対策の充実	2.95	0.94	31.9	
	(42) 交通安全の確保	2.82	0.98	34.8	
	(43) 犯罪の防止	2.85	1.03	36.2	
収入と消費生活	(44) 収入の着実な増加	2.18	1.01	46.4	2.43
	(45) 物価の安定	2.40	0.95	39.6	
	(46) 老後に不安のない年金	2.00	1.03	51.2	
	(47) 税負担の公平さ	2.19	1.01	45.8	
	(48) 商品・サービスの安全性の確保	2.85	0.91	32.0	
	(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	2.64	0.94	35.7	
	(50) 安全で安心な食品の確保	2.93	0.95	32.4	
(51) 十分な貯蓄ができること	2.06	1.02	49.3		
休暇と余暇	(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	2.52	1.09	43.4	2.71
	(53) グラウンドや体育館の整備	2.94	1.05	35.8	
	(54) 趣味の会への参加の機会	2.72	0.96	35.3	
	(55) 多様な宿泊施設の整備	2.63	1.01	38.4	
社会福祉	(56) 安心して子供を生み育てられる環境の整備	2.81	0.96	34.3	2.68
	(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	2.52	1.01	39.9	
	(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	2.44	0.99	40.4	
	(59) 保育所・学童保育所の充実	2.86	1.03	36.2	
地域活動	(60) 地域行事への参加	3.20	0.97	30.4	2.92
	(61) 集会場や公民館の利用機会	3.16	1.02	32.2	
	(62) 住民意見の行政への反映	2.60	0.98	37.6	
	(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動	2.67	0.97	36.4	

(1) 充足度得点の低い項目と高い項目

充足度の低い項目と高い項目をそれぞれ15項目抜き出し、過去の結果と比較したのが表2-2-2と表2-2-3である。

表2-2-2で充足度の低い項目をみると、1位は「(46) 老後に不安のない年金」、2位は「(51) 十分な貯蓄ができること」で、以下、「(20) 高齢者・心身障害者の就業機会」、「(16) 失業の不安の解消」、「(40) 米軍基地の安全管理の確保」、「(44) 収入の着実な増加」、「(47) 税負担の公平さ」と続いている。「(46) 老後に不安のない年金」は前々回13位、前回6位と徐々に充足度が低下し、今回1位となっている。前回1位の「(51) 十分な貯蓄

ができること」と前回2位「(20) 高齢者・心身障害者の就業機会」は今回それぞれ2位、3位と、引き続き充足度の低い項目となっている。

その他の項目について前回調査と比較してみると、「(40) 米軍基地の安全管理の確保」(前々回33位→前回22位→今回5位)が前回に引き続き、順位、充足度得点ともに著しい低下がみられる。さらに、「(45) 物価の安定」(前回27位→今回11位)でも前回からの著しい低下がみられるほか、「(47) 税負担の公平さ」(同12位→7位)、「(17) 仕事のやりがい」(同19位→14位)などで充足度が低下している。これに対して、「(21) 職業・居住地選択の自由」(同3位→9位)、「(22) 職業紹介・訓練の充実」(同5位→10位)、「(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心」(同8位→13位)、「(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備」(同8位→15位)などは充足度が上昇している。

なお、前回15位の「(62) 住民意見の行政への反映」は今回19位と、下位15位グループからはずれた。

表2-2-2 充足度の低い項目

領域	項目	平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点
収入と消費生活	(46) 老後に不安のない年金	13	2.49	6	2.31	1	2.00
収入と消費生活	(51) 十分な貯蓄ができること	*	*	1	2.11	2	2.06
労働・雇用	(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	1	2.18	2	2.16	3	2.14
労働・雇用	(16) 失業の不安の解消	8	2.40	4	2.27	4	2.15
安全と個人の保護	(40) 米軍基地の安全管理の確保	33	2.75	22	2.60	5	2.17
収入と消費生活	(44) 収入の着実な増加	10	2.44	7	2.38	6	2.18
収入と消費生活	(47) 税負担の公平さ	10	2.44	12	2.42	7	2.19
教育・文化・国際協力	(12) 少年の非行や犯罪の防止	3	2.27	10	2.40	8	2.29
労働・雇用	(21) 職業・居住地選択の自由	2	2.21	3	2.23	9	2.31
労働・雇用	(22) 職業紹介・訓練の充実	4	2.31	5	2.29	10	2.33
教育・文化・国際協力	(11) 各種・専修学校の充実	6	2.35	11	2.41	11	2.40
収入と消費生活	(45) 物価の安定	15	2.51	27	2.65	11	2.40
社会福祉	(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	9	2.41	8	2.39	13	2.44
労働・雇用	(17) 仕事のやりがい	17	2.52	19	2.57	14	2.50
社会福祉	(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	7	2.38	8	2.39	15	2.52
休暇と余暇	(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	*	*	17	2.50	15	2.52
平成11年の下位15項目の中で、15位グループから離れた項目							
領域	項目			前回 順位		今回 順位	
労働・雇用	職場の男女平等			13		統合	
労働・雇用	能力に見合った収入			14		項目削除	
地域活動	(62) 住民意見の行政への反映			15		19	

一方、表2-2-3で充足度の高い項目を上位から順を追ってみると、「(30) 水使用の安心」と「(28) 買物の利便性」が前々回、前回に引き続き、それぞれ1位、2位となっている。3位、4位の「(32) 下水道の整備」と「(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実」は前回と順位が入れ替わっているが、引き続き充足度の高い項目となっている。

前回調査との比較でみると、「(31) 廃棄物の減量化・リサイクル」(前回32位→今回6位)の充足度が大幅に高くなったほか、「(60) 地域行事への参加」(同11位→5位)と生活環境領域の「(25) 良好な住環境」(同12位→7位)、「(29) 生活情報の得やすさ」(同13位→9位)、「(33) 公園や親しめる自然環境」(同18位→11位)などの充足度が高くなっている。反面、医療と保健領域の「(5) 病気の予防・健康診断・健康相談」(同8位→14位)、「(4) 良質な診療・治療」(同6位→15位)の充足度は低下している。

なお、前回6位の「(18) 職場内の安全性」、前回8位の「(43) 犯罪の防止」は今回16位以下に後退している。

表2-2-3 充足度の高い項目

領域	項目	平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点
生活環境	(30) 水使用の安心	1	3.64	1	3.84	1	3.85
生活環境	(28) 買物の利便性	2	3.45	2	3.46	2	3.53
生活環境	(32) 下水道の整備	3	3.29	4	3.35	3	3.45
教育・文化・国際協力	(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	7と8	3.07	3	3.43	4	3.36
地域活動	(60) 地域行事への参加	18	2.85	11	3.17	5	3.20
生活環境	(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	*	*	32	2.78	6	3.19
医療と保健	(6) 救急患者の適切な治療	5	3.11	5	3.30	7	3.18
生活環境	(25) 良好な住環境	15	2.88	12	3.15	7	3.18
地域活動	(61) 集会場や公民館の利用機会	14	2.91	10	3.18	9	3.16
生活環境	(29) 生活情報の得やすさ	8	3.06	13	3.14	9	3.16
生活環境	(33) 公園や親しめる自然環境	17	2.87	18	2.95	11	3.15
生活環境	(26) 交通機関の利便性	10	3.05	14	3.09	12	3.13
男女共同参画	(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと(新規)	*	*	*	*	13	3.11
医療と保健	(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	5	3.11	8	3.20	14	3.08
医療と保健	(4) 良質な診療・治療	4	3.18	6	3.24	15	3.03
平成11年の上位15項目の中で、16位以下に後退した項目							
領域	項目			前回 順位		今回 順位	
労働・雇用	(18) 職場内の安全性			6		16	
安全と個人の保護	(43) 犯罪の防止			8		27	
地域活動	自治会等の充実			15		項目統合	

(2) 領域別の比較

領域ごとの充足度の平均得点と上下15位に入った項目の数について、前回と今回の結果を比較表示したものが表2-2-4である。

各領域の平均得点をみると、「生活環境」、「男女共同参画」、「医療と保健」などが上位に位置し、「収入と消費生活」、「労働・雇用」、「社会福祉」などが下位に位置している。これらの傾向は前回調査とほぼ同様であり、「収入と消費生活」、「労働・雇用」、「社会福祉」などに関する関心や問題意識の持ち方など現在の世相を反映しているといえる。

領域別に上下15位に入った項目数をみると、最も得点の高い「生活環境」領域では、14

項目中8項目が入っており、「医療と保健」と4位の「地域活動」では項目の半数が入っている。一方、下位15位に入った項目数では最も得点の低いほうから「収入と消費生活」領域で8項目中5項目、「労働・雇用」で7項目中5項目、「社会福祉」で4項目中2項目と半数以上の項目が入っている。

平均点が最も高い「生活環境」領域と最も低い「収入と消費生活」領域の得点差は0.73ポイントで、前回の0.56ポイントから広がっている。

表2-2-4 領域別にみた充足度

今回 順位	領 域	前回 順位	領域ごとの 平均得点		上位15位に入った 項目数		下位15位に入った 項目数	
			平成11年	平成16年	平成11年	平成16年	平成11年	平成16年
1	生活環境(統合)	2	3.04	3.16	6/13	8/14	0/13	0/14
2	男女共同参画(新規)	*	*	2.98	*	1/3	*	0/3
3	医療と保健	1	3.05	2.93	3/6	3/6	0/6	0/6
4	地域活動	3	2.89	2.92	3/6	2/4	1/6	0/4
5	教育・文化・国際交流(統合)	5	2.76	2.77	1/10	1/9	2/10	2/9
6	安全と個人の保護	4	2.86	2.72	1/5	0/4	0/5	1/4
7	休暇と余暇	6	2.60	2.71	0/4	0/4	0/4	1/4
8	社会福祉	7	2.51	2.68	0/4	0/4	2/4	2/4
9	労働・雇用	8	2.50	2.46	1/9	0/7	6/9	5/7
10	収入と消費生活	9	2.49	2.43	0/7	0/8	4/7	5/8

(注) 項目数の表記は(該当する項目数)/(領域の項目数)

(注) 今回、生活環境、教育・文化・国際交流は、以下のとおり過去の分類を統合したものである。

領 域	平成11年	平成11年	平成11年
生活環境 (①~③を統合)	3.04 (平均)	6/13	0/13
①快適	3.09	2/6	0/6
②利便	3.10	3/4	0/4
③住宅	2.94	1/3	0/3
教育・文化・国際交流 (①~②を統合)	2.76 (平均)	1/10	2/10
①教育	2.82	1/6	2/6
②教養・文化	2.69	0/4	0/4

(3) 地域別の比較

次に、表2-2-5で領域別の充足度を地域別にみると、10領域平均の充足度得点は北部が最も高く、以下、中部、南部、宮古と八重山、那覇市の順になっている。北部では10領域すべてで最も高い充足度となっている。

一方、平均の充足度が最も低い那覇市では「生活環境」、「収入と消費生活」、「休暇と余暇」、「社会福祉」の4領域で最も低い充足度となっているほか、「労働・雇用」、「安全と個人の保護」、「地域活動」でも低くなっている。那覇市に次いで充足度の低い宮古と八重山をみると、宮古では「労働・雇用」、「男女共同参画」、「地域活動」、八重山では「医療と保健」、「教育・文化・国際交流」、「男女共同参画」、「安全と個人の保護」が最も低くなっている。中部では「医療と保健」、「教育・文化・国際交流」、「男女共同参画」、「地域活動」が高く、「生活環境」、「社会福祉」が低くなっている。南部では「医療と保健」、「男女共同参画」、「安全と個人の保護」、「地域活動」は比較的高い反面、「収入と消費生活」、「労働・雇用」、「休暇と余暇」が低くなっている。

表2-2-5 地域別・領域別の充足度得点

領域	北部		中部		那覇市		南部		宮古		八重山		県計 得点
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
医療と保健	6	3.05	5	2.97	3	2.89	4	2.93	2	2.79	1	2.66	2.88
教育・文化・国際交流	6	2.97	5	2.83	4	2.79	3	2.67	2	2.55	1	2.52	2.72
労働・雇用	6	2.56	4	2.46	2	2.44	2	2.44	1	2.40	5	2.51	2.47
生活環境	6	3.44	2	3.13	1	3.10	3	3.14	4	3.16	5	3.20	3.20
男女共同参画	6	3.09	5	3.01	3	2.94	4	2.96	1	2.85	1	2.85	2.95
安全と個人の保護	6	2.88	3	2.70	2	2.65	4	2.75	5	2.81	1	2.62	2.74
収入と消費生活	6	2.59	3	2.41	1	2.40	1	2.40	5	2.56	4	2.45	2.47
休暇と余暇	6	3.04	4	2.75	1	2.53	2	2.65	3	2.67	5	2.79	2.74
社会福祉	6	2.98	2	2.64	1	2.57	3	2.70	5	2.74	4	2.73	2.73
地域活動	6	3.14	5	2.97	2	2.78	4	2.90	1	2.68	3	2.85	2.89
計	6	2.97	5	2.79	1	2.71	4	2.75	2	2.72	2	2.72	2.78

(注) 順位は各領域の地域間の順位(低い順)である。

次に、各地域について具体的項目の順位を低い順に示したものが表2-2-6である。県平均で最も低い「(46) 老後に不安のない年金」は北部、中部、那覇市、南部で1位、八重山で3位、宮古で4位となっている。また、県平均で2位の「(51) 十分な貯蓄ができること」も中部、那覇市、南部で2位、北部で3位、宮古で4位、八重山で6位と、いずれの地域でも比較的上位にあり、充足度の低いことは共通しているが、宮古と八重山の傾向が異なっている。宮古と八重山では県平均で11位の「(11) 各種・専修学校の充実」が1位と、最も低い充足度となっているほか、宮古では県平均10位の「(22) 職業紹介・訓練

の充実」が2位、八重山では県平均8位の「(12) 少年の非行や犯罪の防止」が2位と、充足度の低い項目となっている。「(11) 各種・専修学校の充実」は那覇市では29位と充足度は中位に位置し、地域差の大きいのが特徴である。また、県平均で5位の「(40) 米軍基地の安全管理の確保」も中部、那覇市では3位と充足度が低く、他の地域との差が大きい。

各地域の充足度の低い順位について県平均と比較すると以下のような特徴がみられる。

北部では、県平均9位の「(21) 職業・居住地選択の自由」が4位、県平均11位の「(11) 各種・専修学校の充実」が7位、県平均22位の「(10) 大学教育の開放」が14位と低い充足度となっている。一方、「(55) 多様な宿泊施設の整備」、「(27) 渋滞の解消」、「(13) 文化施設の整備」などは県平均より高い充足度となっている。

中部では、比較的県平均の充足度の順位と類似した序列傾向にあるが、県平均5位の「(40) 米軍基地の安全管理の確保」が3位、県平均27位の「(27) 渋滞の解消」が18位と低い充足度となっている。一方、「(13) 文化施設の整備」は県平均より高い充足度となっている。

那覇市では、県平均5位の「(40) 米軍基地の安全管理の確保」が3位のほか、県平均15位の「(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大」が11位、県平均26位の「(54) 趣味の会への参加の機会」が17位と低い充足度となっている。一方、「(11) 各種・専修学校の充実」、「(14) 生涯学習の機会」などは県平均より高い充足度となっている。

南部では、県平均29位の「(13) 文化施設の整備」が13位、県平均20位の「(55) 多様な宿泊施設の整備」が14位と低い充足度となっている。一方、「(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備」、「(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境」などは県平均より高い充足度となっている。

宮古では、県平均の傾向とは異なり、県平均11位の「(11) 各種・専修学校の充実」が1位、県平均10位の「(22) 職業紹介・訓練の充実」が2位のほか、県平均29位の「(13) 文化施設の整備」が10位、県平均19位の「(62) 住民意見の行政への反映」が11位、県平均17位の「(9) 外国語教育の充実」が12位、県平均24位の「(14) 生涯学習の機会」が13位、県平均39位の「(15) 伝統工芸の振興」が20位と低い充足度となっている。一方、「(40) 米軍基地の安全管理の確保」、「(17) 仕事のやりがい」、「(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大」、「(27) 渋滞の解消」、「(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備」などは県平均より高い充足度となっている。

八重山も県平均の傾向とは異なり、県平均11位の「(11) 各種・専修学校の充実」が1位、県平均8位の「(12) 少年の非行や犯罪の防止」が2位のほか、県平均10位の「(22) 職業紹介・訓練の充実」が5位、県平均22位の「(10) 大学教育の開放」が9位、県平均21位の「(49) 商品・サービスの苦情処理の充実」が12位、県平均49位の「(4) 良質な診療・治療」が15位、県平均33位の「(42) 交通安全の確保」が18位と低い充足度となっている。一方、「(21) 職業・居住地選択の自由」、「(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備」、「(55) 多様な宿泊施設の整備」、「(54) 趣味の会への参加の機会」、「(27) 渋滞の解消」などは県平均より高い充足度となっている。

表2-2-6 地域別・項目別充足度得点順位表(低い順位)

項目	県計 順位	地域別					
		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
(46) 老後に不安のない年金	1	1	1	1	1	4	3
(51) 十分な貯蓄ができること	2	3	2	2	2	4	6
(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	3	1	5	4	6	3	7
(16) 失業の不安の解消	4	6	5	5	3	6	4
(40) 米軍基地の安全管理の確保	5	8	3	3	10	15	13
(44) 収入の着実な増加	6	4	7	6	5	8	10
(47) 税負担の公平さ	7	10	4	7	4	7	8
(12) 少年の非行や犯罪の防止	8	13	8	8	9	14	2
(21) 職業・居住地選択の自由	9	4	9	9	11	8	20
(22) 職業紹介・訓練の充実	10	9	11	13	7	2	5
(11) 各種・専修学校の充実	11	7	13	29	8	1	1
(45) 物価の安定	11	10	10	14	12	18	13
(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	13	15	12	10	14	22	11
(17) 仕事のやりがい	14	12	15	14	17	25	21
(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	15	17	17	11	18	29	15
(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	15	20	14	12	22	16	26
(9) 外国語教育の充実(新規)	17	19	18	17	16	12	15
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境(統合)	17	16	16	16	24	18	23
(62) 住民意見の行政への反映	19	17	20	20	19	11	18
(55) 多様な宿泊施設の整備	20	31	21	19	14	16	44
(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	21	24	22	21	23	22	12
(10) 大学教育の開放	22	14	23	21	27	25	9
(63) 住んでいる地域・社会をよくなる活動(統合)	23	26	24	24	21	21	30
(2) 精神的緊張が少ないこと	24	20	25	27	26	29	32
(14) 生涯学習の機会	24	27	26	35	20	13	22
(54) 趣味の会への参加の機会	26	28	28	17	27	24	43
(1) 体力の維持・増強	27	23	28	28	34	27	31
(27) 渋滞の解消	27	50	18	24	24	61	62
(3) 費用の心配のない医療	29	22	27	35	30	48	27
(13) 文化施設の整備	29	40	39	33	13	10	38
(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加(新規)	31	24	36	37	30	29	24
(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備	31	36	32	29	33	45	40
(42) 交通安全の確保	33	36	30	37	38	39	18
(35) 環境汚染の防止	34	34	30	44	39	41	25
(36) 自然の保全	34	48	32	31	40	33	47
(43) 犯罪の防止	34	39	35	34	37	53	41
(48) 商品・サービスの安全性の確保	34	43	37	37	32	37	29
(59) 保育所・学童保育所の充実	38	41	32	42	34	55	49
(15) 伝統工芸の振興(統合)	39	33	38	45	29	20	50
(24) 各家族員の個室の確保	40	41	41	23	47	58	32
(23) 持ち家の取得	41	30	43	32	44	57	42
(50) 安全で安心な食品の確保(新規)	42	31	39	47	45	50	36
(53) グラウンドや体育館の整備	43	55	48	24	34	42	51
(41) 防災対策の充実	44	28	42	53	43	37	38
(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済(新規)	45	35	45	42	47	49	37
(34) 景観、町並みが美しいこと(新規)	46	54	45	41	41	28	58
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育(統合)	47	45	49	47	42	51	32
(18) 職場内の安全性	48	44	44	52	51	54	46
(4) 良質な診療・治療	49	36	50	54	49	36	15
(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	50	46	51	51	54	44	32
(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと(新規)	51	47	51	55	52	51	54
(26) 交通機関の利便性	52	59	45	60	46	40	44
(33) 公園や親しめる自然環境	53	57	55	49	49	46	61
(29) 生活情報の得やすさ	54	52	53	57	53	56	57
(61) 集会場や公民館の利用機会	54	61	57	37	57	46	55
(6) 救急患者の適切な治療	56	48	58	58	54	42	27
(25) 良好な住環境	56	58	53	45	61	60	59
(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	58	51	56	56	59	35	53
(60) 地域行事への参加	59	53	59	49	57	29	56
(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	60	55	60	59	60	59	51
(32) 下水道の整備	61	60	61	62	56	34	48
(28) 買物の利便性	62	62	62	61	62	62	60
(30) 水使用の安心	63	63	63	63	63	63	63

(4) 時系列比較

次に、充足度の水準が過去3回の調査と比べてどのように変化してきたかを時系列に示したのが表2-2-7である。

今回調査では、新たに6項目が追加され、4項目については前回調査の2つの項目を1つに統合、1項目については前回調査の内容を拡大しているため、厳密な比較ができないことに注意する必要がある。

全体を通覧すると、平成2年から7年調査にかけて低下した項目が多かったのに対し、平成7年から11年調査にかけては増加した項目が多くなったが、今回の調査では前回に比べて低下した項目が多くなっている。平成7年から11年の充足度得点の変動幅が-0.18～+0.36だったのに対し、今回調査では前回(平成11年)からの充足度得点の変動幅は-0.43～+0.41と拡大している。

項目別にみても、前回調査に比べて充足度得点の下降幅の最も大きい項目は、県平均5位の「(40)米軍基地の安全管理の確保」(-0.43)で、以下、同34位の「(43)犯罪の防止」(-0.35)、同1位の「(46)老後に不安のない年金」(-0.31)、同11位の「(45)物価の安定」(-0.25)、同48位の「(18)職場内の安全性」(-0.23)、同7位の「(47)税負担の公平さ」(-0.23)、同49位の「(4)良質な診療・治療」(-0.21)、同6位の「(44)収入の着実な増加」(-0.20)などであり、このうち、「(46)老後に不安のない年金」、「(44)収入の着実な増加」は前々回、前回に引き続き充足度が低下している。充足度の低下した項目は「収入と消費生活」、「医療と保健」、「労働・雇用」の領域で過半数を占めている。

一方、前回調査に比べて充足度得点の上昇幅の最も大きい項目は、県平均58位の「(31)廃棄物の減量化・リサイクル」(+0.41)で、以下、同31位で項目内容を拡大した「(56)安心して子供を産み育てられる環境の整備」(+0.26)、同53位の「(33)公園や親しめる自然環境」(+0.20)、同29位の「(13)文化施設の整備」(+0.17)などである。

また、表2-2-8に示すように、これら項目ごとの充足度の変化を領域別にみると、「収入と消費生活」、「労働・雇用」、「社会福祉」は前回同様、充足度の低い3領域となっている。また、今回新設された「男女共同参画」は9位に位置している。その他の領域については、前回と比べて大きな変化はみられない。

表2-2-7 充足度の時系列比較

項目	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年	7年-2年	11年-7年	16年-11年
(1) 体力の維持・増強	*	2.79	2.79	2.76	*	0.00	-0.03
(2) 精神的緊張が少ないこと	*	*	2.82	2.71	*	*	-0.11
(3) 費用の心配のない医療	3.18	2.94	2.94	2.77	-0.24	0.00	-0.17
(4) 良質な診療・治療	3.55	3.18	3.24	3.03	-0.37	0.06	-0.21
(5) 病気の予防・健康診断・健康相談	3.36	3.11	3.20	3.08	-0.25	0.09	-0.12
(6) 救急患者の適切な治療	3.32	3.11	3.30	3.18	-0.21	0.19	-0.12
(7) 幼稚園・小・中・高校の施設の充実	3.24	3.07	3.43	3.36	-0.17	0.36	-0.07
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育(統合)	*	2.82	2.99	3.00	*	0.17	0.01
(9) 外国語教育の充実(新規)	*	*	*	2.56	*	*	*
(10) 大学教育の開放	2.81	2.59	2.72	2.65	-0.22	0.13	-0.07
(11) 各種・専修学校の充実	2.40	2.35	2.41	2.40	-0.05	0.06	-0.01
(12) 少年の非行や犯罪の防止	2.78	2.27	2.40	2.29	-0.51	0.13	-0.11
(13) 文化施設の整備	2.66	2.47	2.60	2.77	-0.19	0.13	0.17
(14) 生涯学習の機会	2.70	2.51	2.63	2.71	-0.19	0.12	0.08
(15) 伝統工芸の振興(統合)	2.92	2.55	2.76	2.87	-0.37	0.21	0.11
(16) 失業の不安の解消	2.46	2.40	2.27	2.15	-0.06	-0.13	-0.12
(17) 仕事のやりがい	2.61	2.52	2.57	2.50	-0.09	0.05	-0.07
(18) 職場内の安全性	3.17	3.03	3.24	3.01	-0.14	0.21	-0.23
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境(統合)	2.65	2.73	2.66	2.56	0.08	-0.07	-0.10
(20) 高齢者・心身障害者の就業機会	2.23	2.18	2.16	2.14	-0.05	-0.02	-0.02
(21) 職業・居住地選択の自由	2.31	2.21	2.23	2.31	-0.10	0.02	0.08
(22) 職業紹介・訓練の充実	2.57	2.31	2.29	2.33	-0.26	-0.02	0.04
(23) 持ち家の取得	2.82	2.61	2.87	2.91	-0.21	0.26	0.04
(24) 各家族員の個室の確保	2.63	2.59	2.80	2.89	-0.04	0.21	0.09
(25) 良好な住環境	3.19	2.88	3.15	3.18	-0.31	0.27	0.03
(26) 交通機関の利便性	3.24	3.05	3.09	3.13	-0.19	0.04	0.04
(27) 渋滞の解消	*	2.71	2.72	2.76	*	0.01	0.04
(28) 買物の利便性	3.56	3.45	3.46	3.53	-0.11	0.01	0.07
(29) 生活情報の得やすさ	3.08	3.06	3.14	3.16	-0.02	0.08	0.02
(30) 水使用の安心	3.83	3.64	3.84	3.85	-0.19	0.20	0.01
(31) 廃棄物の減量化・リサイクル	*	*	2.78	3.19	*	*	0.41
(32) 下水道の整備	3.09	3.29	3.35	3.45	0.20	0.06	0.10
(33) 公園や親しめる自然環境	2.75	2.87	2.95	3.15	0.12	0.08	0.20
(34) 景観・町並みが美しいこと(新規)	*	*	*	2.98	*	*	*
(35) 環境汚染の防止	2.79	2.81	2.78	2.85	0.02	-0.03	0.07
(36) 自然の保全	*	*	2.82	2.85	*	*	0.03
(37) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと(新規)	*	*	*	3.11	*	*	*
(38) 女性の積極的な経済界や政治活動への参加(新規)	*	*	*	2.81	*	*	*
(39) 家庭内暴力の防止や被害者の救済(新規)	*	*	*	2.96	*	*	*
(40) 米軍基地の安全管理の確保	2.55	2.75	2.60	2.17	0.20	-0.15	-0.43
(41) 防災対策の充実	2.98	2.81	2.80	2.95	-0.17	-0.01	0.15
(42) 交通安全の確保	2.51	2.59	2.70	2.82	0.08	0.11	0.12
(43) 犯罪の防止	3.12	3.03	3.20	2.85	-0.09	0.17	-0.35
(44) 収入の着実な増加	2.48	2.44	2.38	2.18	-0.04	-0.06	-0.20
(45) 物価の安定	2.47	2.51	2.65	2.40	0.04	0.14	-0.25
(46) 老後に不安のない年金	2.69	2.49	2.31	2.00	-0.20	-0.18	-0.31
(47) 税負担の公平さ	2.33	2.44	2.42	2.19	0.11	-0.02	-0.23
(48) 商品・サービスの安全性の確保	*	2.85	2.95	2.85	*	0.10	-0.10
(49) 商品・サービスの苦情処理の充実	2.42	2.54	2.58	2.64	0.12	0.04	0.06
(50) 安全で安心な食品の確保(新規)	*	*	*	2.93	*	*	*
(51) 十分な貯蓄ができること	*	*	2.11	2.06	*	*	-0.05
(52) 労働時間短縮による家族との交流、休暇の増大	2.38	2.56	2.50	2.52	0.18	-0.06	0.02
(53) グラウンドや体育館の整備	2.74	2.75	2.84	2.94	0.01	0.09	0.10
(54) 趣味の会への参加の機会	2.59	2.54	2.59	2.72	-0.05	0.05	0.13
(55) 多様な宿泊施設の整備	2.67	2.52	2.48	2.63	-0.15	-0.04	0.15
(56) 安心して子供を産み育てられる環境の整備 ※	2.70	2.50	2.55	2.81	-0.20	0.05	0.26
(57) 要介護者等に対する施設・支援システムの整備	2.53	2.38	2.39	2.52	-0.15	0.01	0.13
(58) 独居老人や母子・父子家庭の安心	2.58	2.41	2.39	2.44	-0.17	-0.02	0.05

(注1) ※印(56)は表現の変更があった項目

(注2) (統合)とは2つの項目を1つの項目にまとめたものであるが、過去の数値の表記は以下のとおりとした。

項目	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年
(8) 小・中学校及び高校での能力を伸ばす教育 (①と②を統合)	*	2.82 (平均)	2.99 (平均)	3.00
①小・中学校での能力を伸ばす教育	*	2.84	3.04	
②高校での能力を伸ばす教育	*	2.79	2.93	
(15) 伝統工芸の振興 (①と②を統合)	2.92	2.55	2.76 (平均)	2.87
①伝統工芸の振興	2.92	2.55	2.64	
②伝統文化の振興	*	*	2.87	
(19) 仕事と子育てが両立し易い労働条件・職場環境 (①と②を統合)	2.65	2.73 (平均)	2.66 (平均)	2.56
①職場内での男女の平等	2.65	2.61	2.44	
②女性の職場進出	*	2.85	2.87	
(63) 住んでいる地域・社会をよくする活動 (①～③を統合)	3.07 (平均)	2.69 (平均)	2.84 (平均)	2.87
①自治会等の充実	3.08	2.81	3.06	
②ボランティア	2.76	2.56	2.62	
③相互扶助	3.38	2.70	2.84	

表2-2-8 領域別充足度得点の時系列比較

今回 順位	領 域	平成2年		平成7年		平成11年		平成16年	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
1	収入と消費生活	1	2.48	3	2.55	1	2.49	1	2.43
2	労働・雇用	2	2.55	1	2.51	2	2.50	2	2.46
3	社会福祉	5	2.84	1	2.51	3	2.51	3	2.68
4	休暇と余暇	2	2.55	4	2.59	4	2.60	4	2.71
5	安全と個人の保護	4	2.83	7	2.81	6	2.86	5	2.72
6	教育・文化・国際交流(統合)	6	2.87	5	2.61	5	2.76	6	2.77
7	地域活動	8	3.06	6	2.73	7	2.89	7	2.92
8	医療と保健	9	3.35	8	3.03	9	3.05	8	2.93
9	男女共同参画(新規)	*	*	*	*	*	*	9	2.98
10	生活環境(統合)	7	2.92	9	3.06	8	3.04	10	3.16
県計			2.83		2.71		2.74		2.77

(注) 今回、生活環境、教育・文化・国際交流は、以下のとおり過去の分類を統合したものである。

領域	平成2年	平成7年	平成11年
生活環境 (①～③を統合)	2.92 (平均)	3.06 (平均)	3.04 (平均)
①快適	2.79	3.15	3.09
②利便	3.29	3.07	3.10
③住宅	2.69	2.96	2.94
教育・文化・国際交流 (①～②を統合)	2.87 (平均)	2.61 (平均)	2.76 (平均)
①教育	2.84	2.71	2.82
②教養・文化	2.89	2.51	2.69

3 生活の各側面に対するニーズ(問1、問2関連)

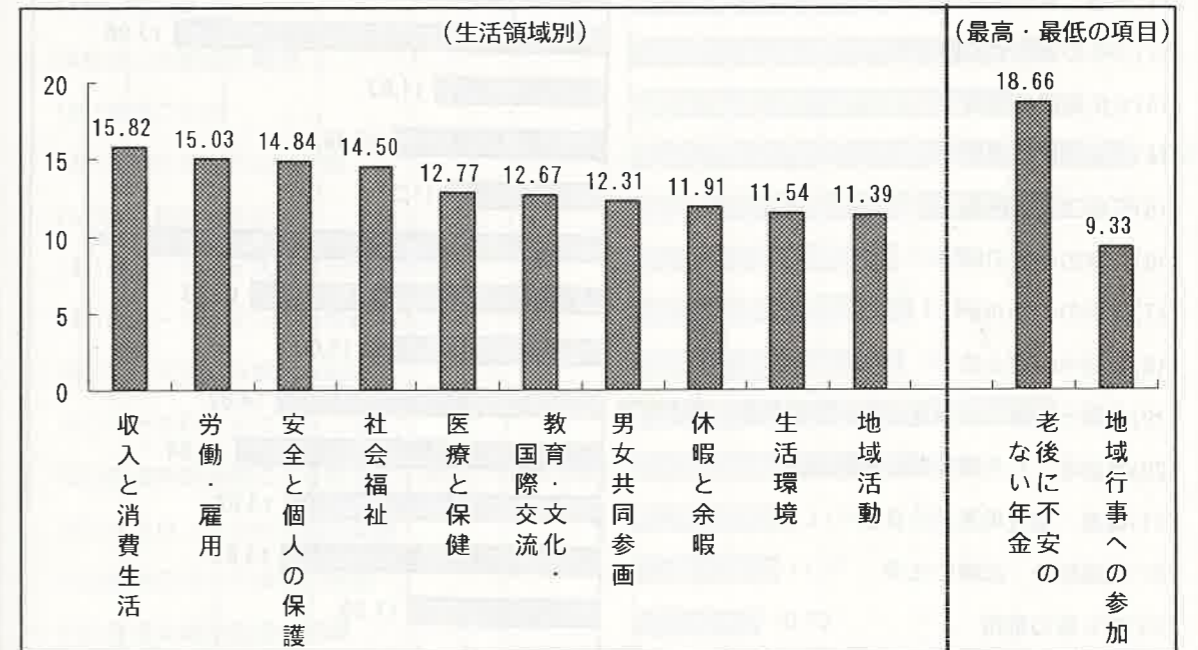
これまで、県民生活に関する具体的な項目について、その重要度と充足度をみてきたが、生活に対するニーズは両者相互に関係しているため、以下の式で定義されるニーズ得点を算出し、県民のニーズに関する評価の指数(ニーズ得点)とした。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{充足度得点})$$

ここで、(6 - 充足度得点)は未充足を意味し、ニーズ得点は重要度、充足度によって変化し、重要度が高く、しかも充足されていない項目ほど高くなるという関係にある。

まず、領域別のニーズ得点を示したのが図2-3-1である。ニーズの高い領域は「収入と消費生活」、「労働・雇用」、「安全と個人の保護」、と続き、一方、「地域活動」、「生活環境」、「休暇と余暇」に対するニーズは相対的に低くなっている。

図2-3-1 ニーズ得点



具体的な項目別の得点をみると、図2-3-2、表2-3-1に示すように、得点の最も高い項目は「(46)老後に不安のない年金」(18.66)で、以下、「(16)失業の不安の解消」(17.45)、「(47)税負担の公平さ」(17.19)、「(12)少年の非行や犯罪の防止」(17.06)、「(40)米軍基地の安全管理の確保」(17.00)と続いている。

一方、得点の最も低い項目は「(60)地域行事への参加」(9.33)で、以下、「(28)買物の利便性」(9.45)、「(61)集会場や公民館の利用機会」(9.49)、「(30)水使用の安心」(9.61)、「(7)幼稚園・小・中・高校の施設の充実」(10.67)と続いている。

また、ニーズ得点の最も高い「(46)老後に不安のない年金」(18.66)と最も低い「(60)地域行事への参加」(9.33)には9.33ポイントの開きがあり、ニーズの格差は前回調査の7.83ポイントより大きくなっている。